

令和5年度あなたの声まとめ (FAX・Eメール含む)

令和5年7月集計分

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
973	7/2	メール	要望	夏になると他県ナンバーの車の人たちが、多度川の河川敷でBBQや花火っをしている。深夜まで騒いだり、ゴミを放置したりしているので、管理を厳しくしてBBQを禁止してはどうか。	河川敷は許可の必要な施設や立入禁止の場所を除き、節度を守り譲り合って利用される限りは、基本的に自由に利用できる公共の空間です。しかし、深夜まで騒いだり、ゴミを放置するなどといったことは、許されることではないと考えています。 今後は、後片付けや火の始末をきちんと行うこと、周辺住民への騒音や環境への配慮などを十分に行うよう周知する旨の看板等を設置し、啓発に努めます。	アセットマネジメント課
974	7/6	メール	要望	西方地区の林地開発に伴い、昨年から梅園馬坂下線の交通量が増加している。特に大桑橋付近が危険。周辺の市道を含め、宅地化が進む前に対処すべき。	西方地区の開発については、民間事業者により都市計画法に基づく許可を経て工事が行われており、手続きの段階において工事車両に対する指導や既存道路に対する交通量増加に伴う影響対策や通学路の安全確保など道路管理者や地元自治会など各関係所管と協議を行い対策・施工を行っています。しかし、造成工事完了後の世帯増加による社会的人口増がもたらす、既存道路に対する交通量の増加が懸念されますことから、今後、必要に応じて関係自治会や道路管理者など各関係所管と連携を図り、安全対策に努めていきます。	都市整備課
975	7/7	メール	質問	分別が不適切なごみ袋について、指摘シールが貼られた状態で放置されることがある。そのゴミはごみ当番が回収し、班長に持ち込まれ、最終的に自治会長が次の適切なゴミの日に捨て	警告シールを貼付した不適正なゴミについては、収集業者から報告をいただいております。1週間程度そのまま置いておくことで啓発をしています。 その後、排出者が現れない場合は、市で回収します。もし、1週間以上ゴミが残っているようであればご連絡ください。 市としては、上記対応にて、排出者本文に分別のルール、ゴミ出しのマ	環境対策課

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
				ている。桑名市では、回収できないゴミ袋をどのように対処しているか。	ナーの周知啓発させていただきことは、ゴミの減量化や分別を進めるために必要な取り組みであると考えています。	
976	7/10	メール	質問	最近、花火をする場所がありません。家でも近所のことを考えて、火は気を付けていても煙はどうしようもなりません。 例えば学校の校庭で花火をできるようにできないか。	学校の校庭を花火で使用できないかということですが、学校施設の使用については、桑名市立学校施設の開放許可条件に、施設内（校地内）で飲食、喫煙および火気の使用をしないことと定めていますので、校庭での花火は実施できません。	教育総務課
977	7/11	メール	要望	障害者手帳を持っていて、自動車燃料費助成を受けていますが、ガソリン代高騰で非常に困窮している。今のご時世に金額を上げることはできないか。	昨今の電力・食料品・ガソリン代などの価格高騰により、家計への影響は大きく、非常にお困りのことと存じます。物価高騰による負担増への対策は特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して、物価高騰生活支援給付金の支給をしているところです。 自動車燃料費助成制度については、年々受給者数が増加傾向にありますが、月々の上限金額に変更がないよう制度維持に努めています。 今後も受給者数および全体の助成金額の増加が見込まれますので、月々の上限金額の引き上げは非常に困難な状況です。	障害福祉課
978	7/11	メール	意見	神馬の湯は市民の健康増進施設として作ったのが本来の目的だと認識している。しかるに全く本来の目的が感じられず、商業主義のスーパー銭湯になっている。もう少し市民に恩恵がないのか。	健康増進施設は、平成15年に市が建設・運営を行う公設公営での事業計画をスタートしましたが、市の財政状況などもあり事業を停止していました。そのようななか、民間事業者が建設から運営までを行う公民連携手法による民設民営での事業提案が出されたことにより、事業を再開し、手続きを経て、令和3年から桑名市健康増進施設「神馬の湯」としての運営が始まっています。	政策創造課

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
					事業運営については、民間事業者が主体となりますが、これまでに「市民割引」「市主催や市後援のスポーツイベント参加者への割引」「市内小学生を対象として割引」「桑名市の健康イベント参加者への無料入館券の配布」などを行っています。今後も引き続き運営事業者である葛井株式会社と協力し、公民連携手法をいかした、より市民の健康づくりやまちの活性化につながる施設運営を進めていきます。	
979	7/15	メール	要望	石取祭の練習を夜 9 時過ぎてもやっていて非常にうるさい。本番は日程が発表されているので我慢できるが、それ以外の日はストレスになっている。人が就寝する可能性がある時間に大きな音を出すことはおかしい。	石取祭の練習は毎年この時期に行われています。今年は、7 月 12 日～17 日まで行われました。練習期間は、広報くわなの中で告知しています。	ブランド推進課
980	7/17	メール	要望	商業施設・オフィス・学校・公共施設などの個室トイレに生理用ナプキンを常備し無料で提供する予定はないか。鈴鹿市はじめ全国で設置が進んでいる。	感染症拡大による経済的な理由などから生理用品を購入できない女性への支援として、令和 3 年 7 月から 1 か月間、市役所、各地区市民センターの窓口で防災備蓄品を活用して無償配布しました。 学校では、従来から行っていた保健室での手渡しに加え、令和 3 年 7 月から女子トイレの一部に設置しています。 ご要望いただいた「オイテル」の事業者へ連絡したところ、多くの問い合わせがきていてすぐの対応ができないとのこと。 引き続き生活の困窮だけでなく様々な困りごとへの相談を行い、それぞれの課題に寄り添った支援ができるよう努めていきます。また、子育て	女性活躍・多文化共生推進室

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
					中の生活困窮家庭に対して子ども食堂などがフードパントリーの場を活用して、生活用品の一つとして生理用品を配布しています。	
981	7/19	メール	要望	他の市では小学生向けのランドセル用保冷剤を配布しているが、桑名市は子どもたちへの熱中症対策は何かないのか	7月に入り、大変暑さの厳しい日が続いており、各学校でも子どもたちへの熱中症対策には十分配慮して教育活動を行っています。 心身が暑さに慣れていくよう教育活動を工夫すること、活動前・活動中・活動後とこまめな水分補給や休息タイムを設けること、個人の条件や体調にも影響を受けやすいことから、個々の健康状態を把握したり、体調不良を申し出しやすい環境を醸成したりすることなどに取り組んでいます。登下校についても、下校前には水分をとらせ、涼しい教室でクールダウンさせた上で帰したり、必ず複数人で帰すこと、体調不良を訴えている児童を一人で帰さない、熱中症の疑いから回復した場合でも確実に保護者へ連絡を行うなど細心の注意を払い対応しています。日傘の使用も推奨しています。ランドセルの保冷パットに配布の予定はありませんが、引き続き、最大限の危機意識をもって熱中症対策に取り組んでいきます。	教育総務課
982	7/25	メール	意見	2歳の子どもがいるシングルマザーだが、保育園が決まらない。仕事をしないと生活ができない。どうにかしてほしい。	8月途中入所については、ご希望に添えず申し訳ございません。保育園等の利用調整については、市が定める利用調整の基準に基づき、利用できる施設へ調整を行っています。現在、ひとり親世帯には加点を行っておりますが、今回希望された保育施設は空きが少なく、希望に沿えなかったところです。なお、保護者様の就労のための一時預かりサービスもございますので、よろしいければお問い合わせください。	保育支援室
983	7/29	メール	質問	今年の花火大会を楽しみにし	桑名市では、さまざまな事業においてペーパーレス化に努めておりま	観光課

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
				ていたが、プログラムが届かない。なぜ、新聞にプログラムを織り込まないのか	す。花火大会のプログラムは、どなたでもご覧いただけるよう観光サイトに掲載したり、会場のお越しの方などに限定して配布したりするなど、発行部数を抑えています。	
984	7/29	メール	質問	今年の花火大会について、例年は警備員も近所にいたが、今年はいなかったせいか路上駐車が目立った。どこが通行止めや歩行者天国になるか理解できていない。警察と協力して駐車を取り締まりをしたり、近隣住民や来場者でもわかるようなマップを作ってもらいたい	来場者に向けては、公共交通機関を利用するよう呼びかけるとともに、会場周辺の交通規制マップを桑名市観光サイトに掲載し周知したほか、地元自治会様には回覧で周知するよう依頼しました。 今年にはコロナ禍の規制がなく、観覧車数は過去最大であったため、皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。さまざまな事案が発生しましたので、来年の開催に向けて関係機関とともに警備員の配置を含め、対策を行っていきます。	観光課
985	7/29	メール	要望	熱中症対策について。米沢市の中学生が部活帰りに熱中症で亡くなった。このような事故が起こらないよう部活動中止の基準を設けるべき。いつまでも校長や顧問の判断に任せず、子どもの命を守る英断をお願いしたい。	これまでも各学校には熱中症に対して十分配慮しながら教育活動を行っていきよう周知してきましたが、山形県における痛ましい事故を受け、8月4日付けで三重県教育委員会からも熱中症事故防止の更なる徹底を図る通知がありました。 本市教育委員会としても部活動における熱中症事故防止対策として、 ①活動場所の暑さ指数（WBGT）が31℃以上の場合は「運動を中止する」 ②活動場所の暑さ指数が28～30℃未満の場合は「激しい運動や体温が上昇しやすい運動は避け、必要に応じて運動を中止する」こととしました。 また、学校長に対しては ・定期的に休息タイムを必ず設ける	学校支援課

No.	投書日	方法	内容	あなたの声の内容	回答の内容	対応課
					<p>・活動前、活動中、活動後の健康観察を行い、少しでも体調不良を訴える者に対して、無理はさせず涼しい部屋などに移動させるなど適切な措置を講じる。などを行うよう依頼しました。</p>	
986	7/30	メール	意見	<p>花火大会での危険な状況を 2 件報告する。</p> <p>①有料席のフェンスの前にシートを敷いている人が通路の邪魔になって危険だった</p> <p>②六華苑と R O C C A の横の道に車が止まっていて道路が狭くなって人が密集し危険だった</p>	<p>今年は、4年ぶりにコロナ禍の規制がなく開催できたことで、たくさんの人に来ていただきました。主催者としては、会場と県道の間スタッフを配置して監視していましたが、お客様の数が想定以上だったこともあり、大変ご迷惑をお掛けしました。</p> <p>いただいたご意見を踏まえて、皆様が安全・安心して花火大会へお越しいただけるよう、次年度に向けて関係者と協議しながら改善に努めていきます。</p>	観光課
987	7/31	メール	要望	<p>ふるさと多度文学館に持込学習用の自習室がない。将来の日本を担う学生や今の社会を支える社会人に空調の効いた部屋で集中して勉強できるスペースを確保すべき。桑名市立図書館にはあるのに地域格差を感じる。</p>	<p>ふるさと多度文学館の持込学習ができる自習室は、中央図書館とは異なり、建物の構造上設けていません。</p> <p>持込学習目的の自習室はありませんが、館内資料を使用する際の調べ物をしていただくための机、椅子はございますので、ご活用ください。</p>	中央図書館